自治会だより　ふれあい　2022年5月号

宇堅 1019 番地(宇堅公民館内)973−3558（ﾌｧｯｸｽ兼）
Email:　uken@public.city.uruma.okinawa.jp

注意：予定行事は、新型コロナウィルス感染症の状況により、変更・中止がありえます。その際は区内放送等にてお知らせします。

【 5 月 の 行 事 】

調整中		長寿会美化作業
調整中		ミニデイサービス（室内レク）
調整中		長寿会総会

【その他の行事】

【 6 月 の 行 事 】

調整中		区内清掃
調整中		ゴーヤー勝負（長寿会）
23（木）	午前11：45	慰霊祭

【その他の行事】

【 7 月 の 行 事 】

調整中	午前 9：00	長寿会ｸﾞﾗｳﾝﾄﾞｺﾞﾙﾌ大会（発電所）

【その他の行事】

俳句の窓

俳句

五月雨や部屋一列に服の数
菜園は私の趣味五月晴れ
（湧田清子作）

真名鶴の北へ北へと飛び立ちぬ
鯉のぼり飾り親子で見上げてる
（ＲＩ作）

夏野菜の植え付け時期。早めの梅雨入り、鬱陶しく、蒸し暑い日々ですが、真夏に向けての準備期間です！

定期総会

「定期総会」と「豊年祭」は、新型コロナウィルス感染症の拡大予防のために、区民を集めての開催は断念しました。早く、収束を祈るばかりです。区民の委任を受け、評議委員会において代決します。ご了承ください。「総会資料」をご入用の方は、公民館にてお受け取りください。

「宇堅子ども会」より

コロナ対策を行いながら先の行事を予定しています。定員がありますので、行事案内が届きましたら早めの申し込み。

先月号に第1回目を掲載済。

◆「楽しく学ぼうＳＤＧｓ」
・６～８月：イソアワモチ
・９～二月：海洋ゴミ

健康維持活動の奨励

公民館では、先輩方の健康維持を促進するために、左記の三つの健康維持活動を奨励しています。

活動に応じてティッシュペーパー等を進呈しています。ご参加ください。

①ウォーキング（万歩計）
②パズル
③知恵の輪

山折り

婦 人 が ん 健 診 日 程

うるみんでの婦人がん健診日程です。
事前に予約が必要です。
注意：　保険証を持参すること
※受付時間＝13：00～14：30

5	17 日（火）	11	15 日（火） 29 日（火）
6	28 日（火）		
7	12 日（火） 26 日（火）	12	20 日（火） 27 日（火）
8	16 日（火） 30 日（火）	1	24 日（火）
		2	7日（火） 21 日（火）
9	20 日（火）	「ゆらてく」等会場もあります。お問い合わせください。	
10	18 日（火） 25 日（火）		

「検診」・「婦人がん検診」ともに予約が必要です。
予約先 ☎ 098-973-4960

検 診 日 程

うるみんでの集団健診日程です。 **事前に予約が必要です。個別健診（医療機関に予約）もあります。**
注意：　保険証を持参すること
※受付時間＝8：00～10：30

6	9日（木） 10 日（金） 24 日（金） 26 日（日）	10	19 日（水）
		11	4日（金） 24 日（木）
7	14 日（木） 27 日（水） 28 日（木）	12	10 日（土） 11 日（日） 23 日（金）
8	20 日（土） 21 日（日） 31 日（水）	1	12 日（木）ﾅｲﾄ検診 28 日（土） 29 日（日）
9	14 日（水）ﾅｲﾄ検診 28 日（水） 29 日（木）	2	10 日（金） 22 日（水） 25 日（土） 26 日（日）

自治会勉強コーナー

（このコーナーは面白いな～、すごいな～っと思った地域を紹介）

大地の恵み　歴史と文化の薫る　いきいき岩崎

岩手県　北上市　岩崎地区自治振興会

平成23年3月に大震災が発生。同年7月開催の予定で準備を進めていたものの、このまま計画を進めてよいものか悩んだ末に、大会を通じて被災地に元気を届けようとの考えのもと予定通り実施を決めた。地元民にとって全くなじみのない自転車レースをどのようにサポートすべきか戸惑いが多かった。しかし、かって行っていた夏油高原マラソン大会の経験を活かし、コース上の安全警備や選手のおもてなしなど、地域ボランティアとして両若男女100人以上の支援と、沿道の温かい応援とで大会を支え、地域の一大イベントとしてこれまで通算9回を数えるまでになった。

(2)若手の力を推進エンジンにした取り組み

昭和の高度成長期までは、20代・30代が中心の青年会は、地域の盆踊りやスポーツ大会などの賑わいをリードしてきた。しかし、若者の減少と働き方や娯楽の多様性から繋がりが希薄になり、青年会活動は衰退していった。そこで、新たな地域計画策定にあたり青年会の設立を目標に掲げ、再び活性化の推進エンジンとなることを期待して「岩崎地区青年会　虹色の会〝絆〟」を結成した。地域の盛り上げ役であるとともに、将来にわたる地域リーダー育成の人づくりの場ともなっている。発足時からメンバーは年々増え、今では250人を超えるまでになり、メンバー同士の結婚は3組もある。

主な活動は、盆踊りをメインにゲームや余興などを行う夏の虹色フェスタ(参加者約1000人)と、鬼が主役の土地柄らしくユニークな豆まきと郷土芸能・各種出店など冬に開催する節分会（参加者約4000人）はどちらも9回を数える。

(3)賑わいを創る取り組み

地域オリジナルの唄と踊りを創作した。自慢の名勝や文化を織り交ぜた輪踊り調の「岩崎ソウサ節」は、作曲を岩崎出身で首都圏在住の方に、演奏は地元民謡団体へ、踊りは市内の舞踊家からの指導を受けた。踊りを広めるため、地元婦人グループや青年会の協力を得て、各地区の敬老会・演劇会・盆踊りなどで踊られて3年で岩崎の踊りに定着した。

また、地域の新たな名物をつくるとの発案でオリジナル料理「岩崎だんご汁」を開発した。郷土食の米粉だんごと子どもから大人まで好まれるスープカレーとの斬新な組み合わせにした。（次回へ）

岩崎地区青年団の活動　虹色フェスタ（8月）

岩崎地区青年団の活動　福豆鬼節分会（2月）

【区長のドゥーチュイ、ウムイ】（編集後記）

第6波が治まらないうちに第7波です。ワクチン接種もあり、重症化は抑えられていますが、オミクロン株は決して弱くありません。国産のワクチンと治療薬開発を急いでもらわないといけません。

予算削減（大学や研究機関）で設備劣化・人材不足による各種技術開発の遅滞。非正規社員と比例した貧困世帯の増加など、国の政策ミスです。

ウクライナとロシアの戦争。停戦の動きが見えない。今一度、ロシアの侵略動機を確認するべきです。

「サピエンス全史」（ユヴァル・ノア・ハラリ／柴田裕之訳／株式会社川出書房）。人類の罪と、そして、科学技術で自然淘汰をも離脱する進化。人間は、人類の未来に何を望むのか。怖い要素もある。

SOSネットワーク事業

認知症高齢者の捜索のための事業です。登録後、迅速に捜索活動ができます。
・電話番号　098-973-5112
・ＦＡＸ　098-982-6041

【申し込み】
①役所（介護長寿課）に申請

【行方不明時は】
①警察に通報
②警察から市役所へ連絡
③自治会や民生委員等に連絡

救急医療情報キット

高齢者の万一の緊急事態に、迅速な医療処置が可能になります。
公民館にお問い合わせください。

①かかりつけ病院
②緊急連絡先
③持病･体質等
④診察券（ｺﾋﾟｰ）
⑤健康保険証（ｺﾋﾟｰ）

廃食油回収！
使用済切手回収します。

（3月末）	宇　堅（外国人除く）		うるま市全体（外国人含む）	
人口（男/女）	1,277（657／620）	19(10／9)	125,570(62,929/62,641)	△66(△90/24)
世 帯 数	499	6	55, 333	107

※今回も「字誌」関係の記事を掲載しました。皆さんの情報提供をお願いします。

第4節　宇堅の地名　（長濱真盛氏メモを基に作成）

二．小　字　名

（1）宇堅原（1番地～102番地）

シマヌメー（島前）を流れる“宇堅ガーラ（天願川下流）”に面した斜面地の土地です。この地には、宇堅では“村”と呼ばれ、宇堅に先住した民が集居した住宅地（集落）が形成されています。大字と小字が同じ地名が、宇堅の古村（ムラ）的な存在をそのまま示しています。

宅地形態は、南面した斜面地に碁盤目状に形成されており、沖縄の伝統的な集落の立地形態となっています。そして、村屋（むーヤー：集会所）が過去から現在にいたるまで立地しており、宇堅のコミュニティの中心的位置を占めています。

（2）長作原（103番地～204番地）

宇堅原の北に位置し、北西を隣接村（天願）の町原と接し、宇堅の北西側の境界を成す土地です。

北の天願土城（天願）から新宇堅原（次掲参照）を経て下流に当る地で、小さな細長い水路が貫通しています。これは宇堅の中央部を流れるタードーシと称される水路につながり、宇堅の優良な農用地を抱える沢の上流部にあります。

“作：saku”は谷間という意味があり、この水路のある谷間を表した語意と言えよう。細長い谷間（水路）のある土地という意味合いを有しています。また、後述する伊集久原の全面（北側）の段差一帯をメーヌサクと称していました。谷間や水路の地形は斜面や崖を伴うものですので、こうした地形を表現しています。

※magaa：長いもの　／　saku：作・迫＝谷間（農村でもちいる語）　割く・裂く

長作原は、宇堅原イリヌマーチューから延びるアーシヌヤーグワーマーチューが天願川からゆるやかにせりあがる馬の背のように、西寄りに新宇堅原と天願町原の堺へと連なり延び、かつては小高い松林があったところに至ります。かつては松林があったのですが、現在はキャンプコートニー（米軍施設）が占拠し、影も形もなくなってしまいました。

戦前の宇堅闘牛場（ウシナー）は、アーシヤーグワーマーチューの東のワチ（脇）に設置されていました（宇堅長作原126番地）。

（3）新宇堅原（205番地～289番地）

新宇堅原は、宇堅の北端にあり、西の隣村の天願と接しています。この小字名は、他の小字名と異なり、宇堅原に“新”が付された表記になっており、新しく宇堅に加わったことを示しています。天願集落から土地を譲り受けた伝えがあります。これは、首里から下ってきた貧士（ヤードゥイ：屋取）が天願の地を開墾し、土地制度の際に宇堅の土地として得た名称と思われます。

新宇堅原は、アーシヌヤーグワーマーチューの延長の小高い灌木の茂みが天願土城の森まで連なっています。明治30年代中期まで所々に鬱蒼とした松林があり、ワラビ等が繁茂するヤンバル（山原）の森を彷彿させたとのことです。

（4）栗原（290番地～388番地）

栗原は、南を新宇堅原と尻川原に、東を荒吹原に、北を西荒吹原に接し、西は隣村の天願と接しています。

栗原には、タードーシに合流する小さな水路が走っており、その下流部では幅員に比して深くえぐられた構造になっています。荒吹原の上の毛（モー）からの雨水が集水されて流れています。また、上の毛と栗原の境目には、土止めとして蘇鉄が植えられており、この境界線がえぐられたような段差になっています。

小字名に栗（木の実）の漢字が当てられていますが、土地との結びつきは見られません。“kuri”の意としては、刳り貫かれる（た）があり、また、“クーリーン（壊れる）”の意も考えられ、栗原の地形的特徴の表現が考えられます。また、裏座の庫裡から見ますと、集落の裏側に位置する土地という意味も付加できます。

※kuri：刳り、庫裡（裏座）

※クーリーン：壊れる

栗原は、他の小字と比較して起伏が少ない平坦地で「クエーミ（食扶持）」の多いところであり、大久保ヤードゥイ（屋取）が栄える要因となった地味を有した土地といえます。戦前の土地の等級評価において、肥沃なタードーシを超えて一等地の評価を得ていたとされています。

（無料イラストイトより）

【小字名（原名）の確立】

「沖縄県土地整理事業」の際に、派遣された調査員の指示のもとに、住民との現地確認作業によって、村の境界（大字界）と原界（小字界）を確定し、各原界（小字界）内の1筆ごとの土地に地番を付したようです。原界（小字界）を確定する際に、原名も一団の土地を示す名称として確立したものと考えられます。

谷折り

五月晴れに鯉のぼり

市役所前の広場のポールに子のぼりが泳いでいます。「鯉のぼり掲揚式」（4月28日）が行われ、保育園児数名と副市長（佐久川篤氏）が仲良く掲揚してくれました。いい天気、いい風が吹いて、いい感じで泳いでいます。

天願川にも恒例となった鯉のぼりの川流しが行われています。散歩がてらに楽しめる空間です。

立身出世を願う鯉のぼりらしいです。が、健康ですこやかであれば良しとしよう。

困りごと相談窓口のご案内

（秘密厳守ですので、お気軽にご相談下さい）

【子供の健康や育児、ＤＶ関連】
- 児童家庭課＝973－5041／4983
- こども健康課＝989－0220

【保育、子供の預かりや送迎関連】
- 保育幼稚園課＝973－5427
- ﾌｧﾐﾘｨｻﾎﾟｰﾄｾﾝﾀｰ＝070-5677-6733

【高齢者関連】
- 地域包括支援センター＝972－3595

【心身の障がい関連】
- 障がい福祉課＝973－5452

【就労・生活支援や生活保護関連】
- 保護課＝979－6552

こころの相談窓口のご案内（無料・匿名・秘密厳守）
- 沖縄いのちの電話(10:00～23:00)＝098-888-4343
- 心の電話相談(平日 9:00～16:30)＝098-888-1450
- まもろうよこころ(中部保健所)＝098-938-9700

後期高齢者医療の高額医療費自己負担限度額について

自己負担限度額の認定証が必要です。

相談先:国民健康保険課(後期高齢者医療係)

973－3202（ﾌｧｯｸｽ=974-6764）

具志川職業能力開発校

973-6680 / 5954

【受付期間】
- 推薦選抜：9月上旬
- 一般試験(第1回)：10 月上旬
- 一般試験(第2回)： 2月上旬

【訓練科名】
- 自動車整備科、電気システム科、メディアアート科、情報システム科、造園ガーデニング科、総合実務科、オフィスビジネス科

一般社団法人沖縄産業開発青年協会

4月入学＆9月入学

資格取得の訓練を、寄宿舎生活(半年間・3食付)で行います。うるま市では、受講料(65万円）の半額又は全額補助が有り。

相談は→９２３-７６３４

【職業訓練】
- 大型特殊自動車
- 小型移動式クレーン
- 車両系建設機械
- ローラー
- アーク溶接
- 刈払機
- 高所作業車
- 玉掛け
- フォークリフト
- ガス溶接
- 伐木

公共職業訓練受講者募集

ポリテクセンター沖縄(北谷町字吉原728-6)

電話＝098-936-9222

科目＝溶接ものづくり、運輸機関ｻｰﾋﾞｽ、建設施工技術、住宅ﾘﾌｫｰﾑ技術、ﾋﾞﾙ管理技術、電気設備、組込みｼｽﾃﾑｴﾝｼﾞﾆｱ

若年者ジョブトレーニング（沖縄県委託時事業）

ミスマッチを解消し、若年者の雇用情勢の改善を図ることを目的。

① 対象者=40歳未満求職者
② 場所=沖縄市上地 2-20-5
③ TEL:098-866-3611
　メール:oubo@jobtore.jp

うるま市就職・生活支援パーソナルサポートセンター

経済的悩み、仕事探しについて、お手伝いをします。

①時間=8:30～17:00(月～金)
②場所=市役所(西棟)
③TEL:989-3972
　FAX:989-3971

うるま市ひとり親家庭生活支援モデル事業

ひとり親家庭の子どもの生活環境改善が必要で、以下の要件をすべて満たす方

1．市内に住所(原則3ヶ月以上)＋児童扶養手当受給中。
2．１８歳未満の児童を養育していること。
3．自立の具体的な目標と意欲のある方

※優先→児童が3人以上、又は1才未満乳児がいる方。

※生活保護(住宅扶助受給者)や公営住宅入居者は対象外。

うるま市消費生活センター

消費生活に関する相談窓口です。

※契約トラブル、通販トラブル、フリーローンなどの困りごとの相談を受け付け、助言などを行います。
- 市役所（東棟）1階：市民協働課　9：00～16：00
- 直通：９７３－５６９２　FAX：９７４－６７６４

◆土日の相談窓口（全国消費生活相談員協会）
- ０３－５６１４－０１８９

うるま市地域包括支援センター（具志川ひがし）

高齢者と家族のための総合相談窓口です。ケアプラン作成も。

※電　話　：９７４－４００１
※ＦＡＸ　：　９７４－８００８
※所在地　：　上江洲７７９－２
※医療法人社団　志誠会

自筆証書遺言書保管制度

※予約が必要です。
※法務局で扱います。
※沖縄市知花６－７－５
※電話：098（937）3278
※手数料：3，900円